



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな人 21

三好学(みよしまなぶ)

ショウブ研究の世界的権威



三好学

ひと口メモ

三好博士の功績は、植物学だけではない。地理学者の辻村太郎が、1937(昭和12)年に著した「景観地理学講話」の中で、「景観」という言葉を生み出した人物として紹介している。また来年の2011(平成23)年は、三好学生誕生150年で、各種イベントを予定。

岩村藩出身の植物学者。わが国の植物学の基礎を築いたサクラとショウブ研究の世界第一人者。「日本植物景観」など多くの著書がある。岩村藩・江戸藩邸で1861(文久元)年に生まれ、幼年を岩村で過ごす。わずか18歳で、小学校校長(瑞浪市立土岐小学校の前身の光迪小学校)に就任。その後、東京大学で植物学の研究を続け、ドイツ留学から帰国後35歳の若さで東大教授に就任した。東大在学中に発表した研究論文は100編に及び、その著書も100冊と言われる。また、一生の事業として天然記念物の保護の力を入れた。1939(昭和14)年、78歳で没。岩村城山城址公園内には、三好博士にちなんだ「菖蒲園」がある。ここには、約13種類のハナショウブが10,000本ほど植えられており、毎年6月下旬ころに開花する。

ひよもの枝垂れザクラ

数々のサクラの名所の一つ

えな自慢
えな花 22



ひよもの枝垂れザクラ

ひと口メモ

ひよもの枝垂れザクラの「ひよも」とは、日当たりのよい、見晴らしのよい所ということに由来して名付けられた三宅家の屋号。

串原中沢地区の山すそで、見事な花を咲かせる「ひよもの枝垂れザクラ」は、根周り約6m、幹周り約4m、高さ枝張りとも20mを越す巨木。樹齢は250年ほどで、所有者の三宅家(串原)の初代長六が亡くなったときに、墓のそばに植えられたと伝えられている。1982(昭和57)年、県の天然記念物に指定されている。

このほか市内には、恵那峡のサクラ・土ヶヶ根のしだれザクラ(大井町)、大名墓地のサクラ・吉田川経塚の枝垂れザクラ(岩村町)、釜屋の枝垂れザクラ(山岡町)、八斗蒔の彼岸ザクラ(明智町)、奥矢作湖畔のサクラ(串原)など多くのサクラの名所がある。ひよもの枝垂れザクラとともに、上矢作町の新田のサクラは2003(平成15)年に「飛騨美濃さくら33選」に選定されている。



新田のサクラ

次号は4月15日号
発行日は4月15日(木)です

広報えな No.125
2010年(平成22年)
4月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111 / ☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』4月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.6円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム
登録用QRコード
問い合わせ 防災対策課(内線317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。

